

自己研修報告書

氏名 豊瀬 和久

視察研修先	高知県梶原町町立図書館「雲の上の図書館」
期 日	令和5年2月12日(日)～13日(月)
研修テーマ	音楽イベントや子育てサポートなどを新発想でおこない、内外から人を呼び込む取り組みなどの様々なアイデア、情報発信や運営の状況について
研修報告 意見・感想	<p>高知県高岡郡梶原町は、人口1100人、面積は236km²です。 町立図書館の「雲の上の図書館」は、世界的に有名な建築家である隈研吾氏が設計を担当されたということで県外から訪れる人なども多く人気の観光スポットとなっています。 2018年5月に開館し、地元の木材をふんだんに使用した木の温もり溢れています。 館内の天井から伸びた無数の木材が目を引きますが、これは木の枝をイメージし、森の中にあるようなくつろぎの空間を演出しているそうです。 図書館のコンセプトは森です。 梶原町は8割が杉やヒノキなどの針葉樹林の森に囲まれており、その森の中で本を読んでいる感覚を味わってほしいという思いで設計されたとのこと。 地上2階・地下1階の館内は、1階部分がガラス張りとなっている事で、外からの光が差し込み温かな雰囲気になっています。 使用されている木材のほとんどが地元町産、唯一町産ではないカーテンウォールも県産のヒノキが使用されています。 雲の上の図書館では、独自で分類した本棚が所狭しと並んでいます。 また、本棚のテーマに合わせたフィギュアが展示されているのも雲の上の図書館の見どころの1つです。 フィギュアメーカー「海洋堂」の創業者・宮脇修氏が高知県出身という繋がりから展示に協力されているとのことでした。 また、コミュニケーションラウンジ「夢見楼」やフリースペース「井戸端エリア」といったゆっくりと過ごせるコーナーも設けられています。 このように、幅広い世代の方が本を楽しみながら、快適に過ごすために必要な設備・環境が整えられています。 会話、飲食、ゲーム等の禁止事項を極力避け、貼り紙等をむやみに掲示しない。 また、館内 BGM を流し、静寂による緊張感の緩和や、ボードゲーム、遊具の貸出しをおこない、様々な過ごし方を提供するなどの工夫もされました。 おおづ図書館としても、館の設計や、コンセプトの違いはありますが、本の並べ方や、館内の過ごし方など、図書館運営のあり方も、できることから、時代や町民ニーズの変化に柔軟に対応していくことが必要なことだと感じました。</p>